



2023年6月14日

## 登別駅のバリアフリー化および駅舎整備の着手について

JR北海道では、本年夏頃より登別駅のバリアフリー化整備に着手します。  
また、登別市観光交流センター「ヌプル」と現駅舎の間に新駅舎を建設し、あわせて現駅舎のリフレッシュ工事を行います。  
使用開始はバリアフリー化および新駅舎整備が2025年度、現駅舎リフレッシュが2026年度を予定しております。

### 1. 経緯・概要

「登別駅」は近くに登別温泉や観光スポットを有する、道内有数の観光駅です。  
しかしながら、現駅構内にはエレベーターが設置されておらず、お身体の不自由なお客様や、大きな荷物をお持ちのお客様にご不便をおかけしています。

また現駅舎は1935年(昭和10年)より使用しており、待合室の広さが十分とは言えず、繁忙期は列車待ちのお客様で混雑が生じています。

そこで今年度より登別駅構内のバリアフリー化および新駅舎の建設、現駅舎のリフレッシュ工事に着手します。

また登別駅周辺では、3月1日に登別市観光交流センター「ヌプル」がオープンしたほか、北海道による登別駅前広場改修や、登別市による市道石山通の拡幅工事も実施予定ですので、三者(北海道、登別市、当社)で歩調を合わせて駅周辺の利便性向上を図ります。



現在の登別駅

#### 現駅舎の概況

完成 : 1935年(昭和10年 ※経年88年)  
住所 : 登別市登別港町1丁目4番地1  
乗車人員 : 215人/日(2021年度(令和3年度))  
構造・特徴 : 木造平屋建 登別軟石を壁材に使用

## 2. 計画概要

### (1) 整備内容

- 駅構内に乗換こ線橋を新設し、エレベーター(2基)を新設する。  
(現乗換こ線橋は撤去)
- 登別市観光交流センター「ヌプル」※と現駅舎の間に新駅舎を建設し、連携することでお客様の利便性向上を図る。

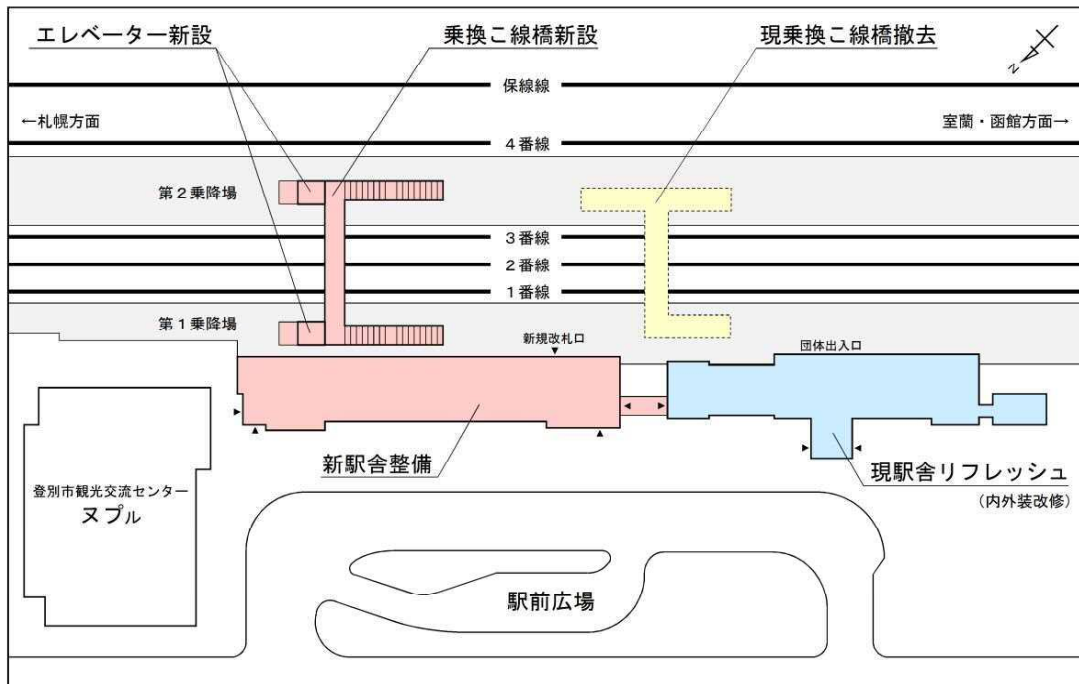
#### 《新駅舎のコンセプト》

- ・歴史に佇み、現在を刻み、未来へと流れる駅
- ・道内有数の温泉地の玄関口として温泉街の風情を感じる駅

※「ヌプル」… アイヌ語で「色の濃い」という意味。登別の地名も「ヌプルペツ」(色の濃い川)に由来する。

- 歴史ある現駅舎は内外装をリフレッシュし、列車を利用されるお客様の待合スペースとして活用する。
- 環境への取り組みとして、新駅舎および現駅舎の屋根南面に太陽光パネルを設置し、駅で使用する電力の一部を賄う。

### 【計画図】



(2) 事業費

- バリアフリー化（乗換こ線橋、エレベーター新設） 約 10 億円  
※ 全額、国および登別市からの補助金を受けて整備
- 新駅舎整備、現駅舎リフレッシュ、現乗換こ線橋撤去等 約 9 億円

(3) 使用開始時期(予定)

- バリアフリー化（乗換こ線橋、エレベーター新設）、新駅舎 2025 年度
- 現駅舎リフレッシュ、現乗換こ線橋撤去 2026 年度

3. イメージ図



①全体整備イメージ図



②新駅舎イメージ図



③新駅舎内観イメージ図



④現駅舎リフレッシュイメージ図

# 登別駅のバリアフリー化および 駅舎整備の着手について

2023年6月14日

- 本年夏頃より登別駅のバリアフリー化整備に着手します。
  
- 登別市観光交流センター「ヌプル」(2023年3月1日オープン)と現駅舎の間に新駅舎を建設します。
  - ※ 「ヌプル」… アイヌ語で「色の濃い」という意味。  
登別の地名も「ヌプルペツ」(色の濃い川)に由来する。
  
- 歴史ある現駅舎のリフレッシュ工事を行います。
  
- 使用開始時期(予定)
  - バリアフリー化、新駅舎 2025年度
  - 現駅舎リフレッシュ、現乗換こ線橋撤去 2026年度

# 1. 経緯・概要

登別駅は近くに登別温泉や観光スポットを有する、道内有数の観光駅

## 【現在の登別駅の課題】

- 駅構内にエレベーターが設置されておらず、お身体の不自由なお客様、大きな荷物をお持ちのお客様にご不便をおかけしています。
- 1935年(昭和10年)より使用しており、待合室の広さが十分ではなく、繁忙期は列車待ちのお客様で混雑が生じています。



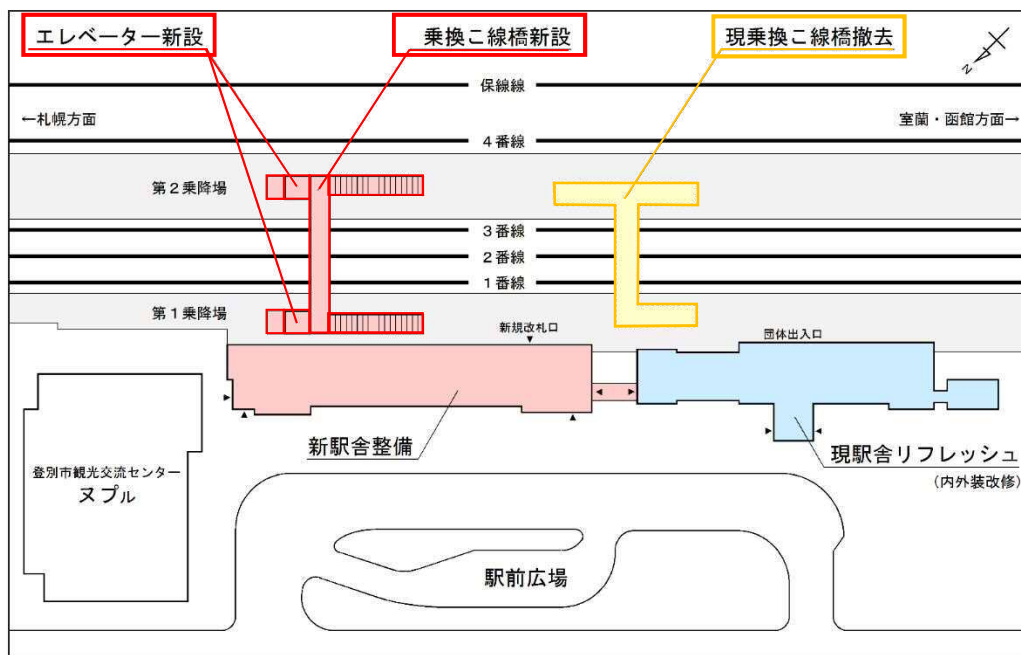
## 現駅舎の概況

完成 : 1935年(昭和10年 ※経年88年)  
住所 : 登別市登別港町1丁目4番地1  
乗車人員 : 215人/日(2021年度(令和3年度))  
構造・特徴: 木造平屋建 登別軟石を壁材に使用

## 2. 計画概要

### (1) 整備内容

- 駅構内に乗換こ線橋を新設し、エレベーター(2基)を新設します。



全体整備イメージ図

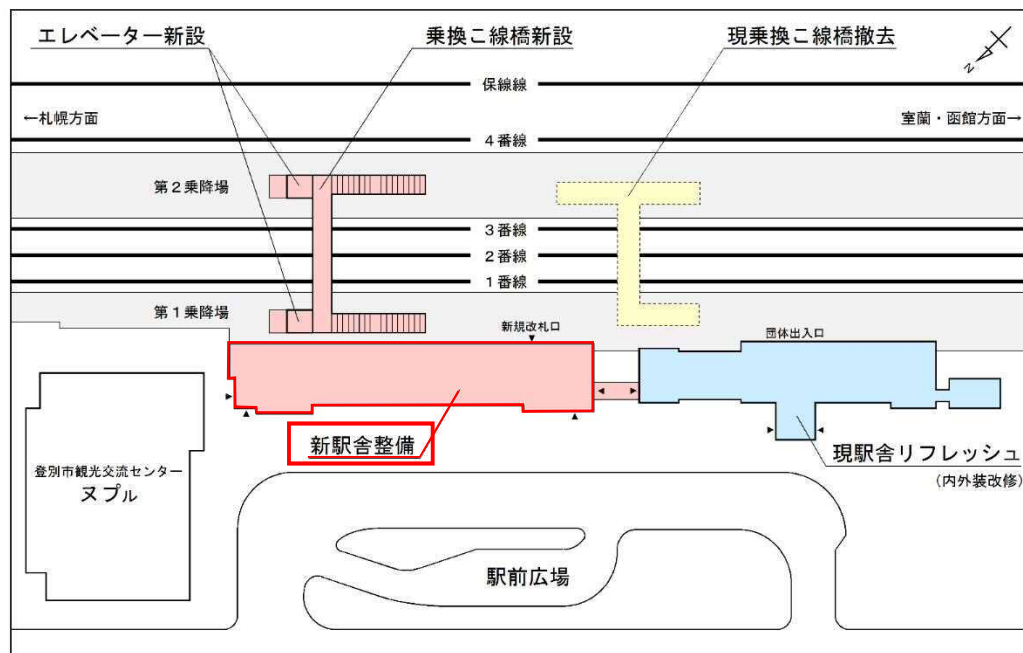
- 北海道、登別市と歩調を合わせて、駅周辺の利便性向上を図ります。

※北海道 … 登別駅前広場改修  
登別市 … 市道石山通りの拡幅



## 2. 計画概要

- 登別市観光交流センター「ヌプル」(2023年3月1日オープン)と現駅舎の間に新駅舎を建設し、連携します。

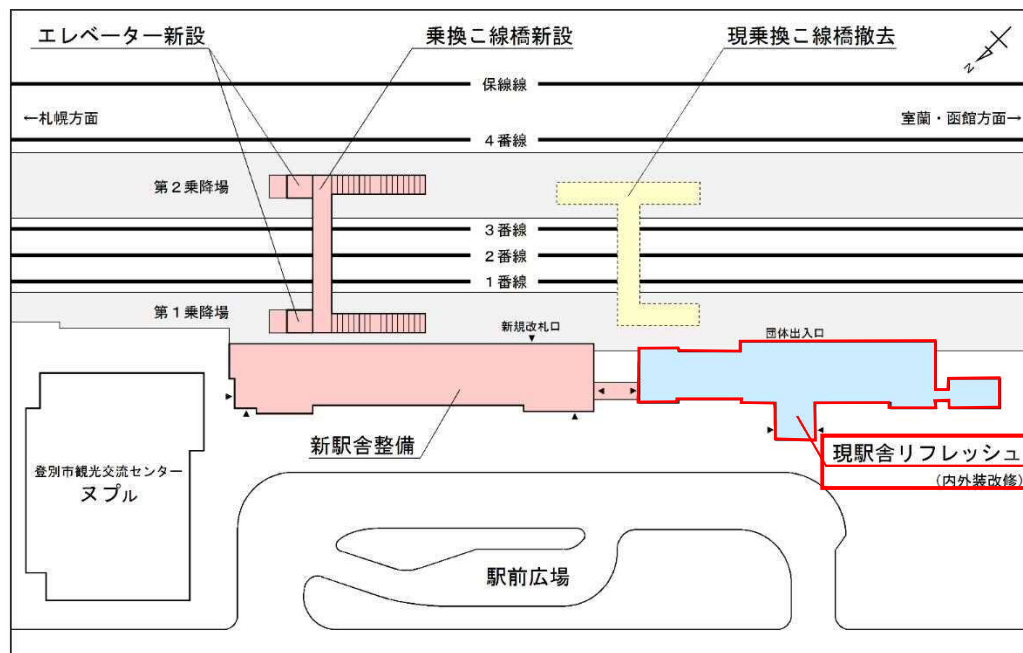


### 《新駅舎のコンセプト》

- ・歴史に佇み、現在を刻み、未来へと流れる駅
- ・道内有数の温泉地の玄関口として温泉街の風情を感じる駅

## 2. 計画概要

- 歴史ある現駅舎は内外装をリフレッシュし、列車を利用されるお客様の待合スペースとして活用します。



現駅舎リフレッシュイメージ図

- 環境への取り組みとして、新駅舎および現駅舎の屋根南面に太陽光パネルを設置し、駅で使用する電力の一部を賄います。

## 2. 計画概要

### (2) 事業費

- バリアフリー化(乗換こ線橋、エレベーター新設) 約10億円  
※ 全額、国および登別市からの補助金を受けて整備
  
- 新駅舎整備、現駅舎リフレッシュ、現乗換こ線橋撤去等 約 9億円

### (3) 使用開始時期(予定)

- バリアフリー化(乗換こ線橋、エレベーター新設)、新駅舎 2025年度
  
- 現駅舎リフレッシュ、現乗換こ線橋撤去 2026年度